# ほけんだより７月号

社会福祉法人誠和会　ひまわり保育園　看護師　野澤

暑い日が続くようになり、熱中症が心配な時期になりました。身体が暑さに慣れていない梅雨明けや気温が急激に上昇した日には特に注意が必要です。
喉が渇いていなくても、こまめに水分補給をするようにしてください。
又、衣服の調節やクーラーを上手に活用しながら厳しい夏を乗り越えましょう。

## ６月の感染症発症状況

溶連菌感染症　　1名

### 溶連菌感染症は、家族にもうつります。

症状がある場合は医師の診断を受けてください。症状がなくなったからといって薬をやめると再発します。又、リウマチ熱や腎炎を起こすこともあるので、医師の指示通りにしましょう。

※6 月 6 日に歯科検診を実施しました。
検診結果で虫歯があった場合、かかりつけの歯科医院を受診してください。治療後、治癒証明の提出をお願いします。

### ❁夏に多い感染症❁

ウイルス感染によって起こる病気です。他人への感染力も強いので、必ず受診をして医師の診断を受けましょう。

#### ヘルパンギーナ

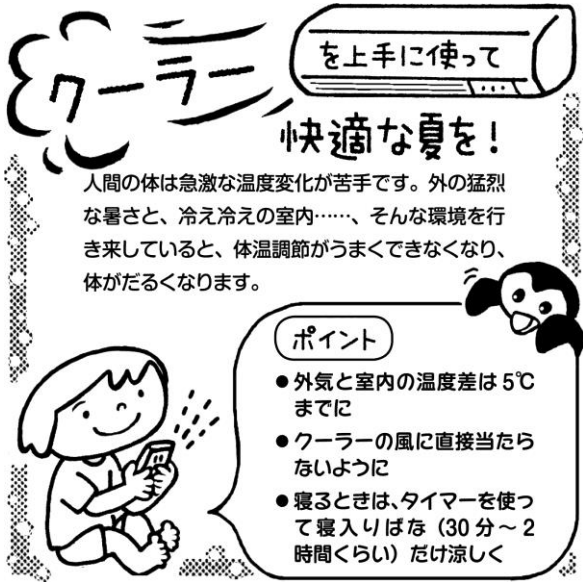
突然の高熱と喉の痛み
口の中の水疱、口内炎が特徴です。症状が軽ければ 1～4 日くらいで解熱します。

#### アデノウイルス

高熱が 3～4 日続き、喉の痛み目の充血やかゆみなど結膜炎のような症状がでます。

#### 手足口病

手の平、足の裏、口の中に水疱でき発熱することもあります。

#### 流行性角結膜炎

目が腫れ充血し普段より多く目やにや涙が出ます。